善監委告示第2号

令和5年2月28日付け善監委第5号で提出した令和4年度定期監査（後期分）の結果に関する報告に対し、市長から措置を講じた旨の通知があったので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定に基づき公表します。

令和5年3月16日

善通寺市監査委員 櫛田真作

善通寺市監査委員 林野忠弘

令和4年度定期監査（後期分）

監査指摘事項の取組について

【秘書課指摘事項】

公平委員会及び固定資産評価審査委員会への併任辞令について

人事異動における職員に交付する辞令については、善通寺市職員人事発令書式規程（昭和54年3月1日規程第3号）に従って作成されている。

公平委員会及び固定資産評価審査委員会への異動辞令中、発令事項にそれぞれ「事務局書記に併任する」と記載されている。しかしながら、公平委員会は運営規則において「委員会に事務職員を置く」と規定、固定資産評価審査委員会は条例において「委員会に書記2名を置く」と規定されており、両委員会ともに事務局の設置は関係例規に規定されていない。このようなことから、辞令作成の際にはそれぞれの例規に基づき発令されたい。

【検討結果】

ご指摘のとおり、関係例規に基づき適正に発令を行う。

【政策課指摘事項】

① 土木都市計画課所管の附属機関について

土木都市計画課の附属機関である「住居表示審議会」は、善通寺市住居表示審議会条例（昭和54年6月13日条例第14号）において設置が規定されている。しかし、事務分掌規則（平成2年12月26日規則第21号）別表中では「住宅表示審査会に関すること。」となっている。このようなことから、事務分掌規則別表の表記を条例に従い「住居表示審議会に関すること。」に改められたい。

② 行政機構図について

本市の行政機構図は、市ホームページの政策課お知らせ欄に「善通寺市行政機構図（2022年4月1日更新）」として掲載されており、同行政機構図中、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の中に事務局が明記されている。しかし、両委員会ともに事務局の設置は関係例規に規定されていないことから、事務局記載部分を削除するなど是正されたい。

【検討結果】

- ① 令和5年度機構改革に伴う改正と併せて、事務分掌規則別表中の表記を「住居表示審査会」から「住居表示審議会」に改める。
- ② 令和5年度機構改革に伴う改正と併せて、善通寺市市行政機構図における公平委員会及び固定資産評価審査委員会の事務局部分を削除する。

【保健課指摘事項】

保健課所管の委員会について

保健課所管の「胃がん検診精度管理委員会」の委員については、令和4年度当初予算に報酬として240,000円計上し、32,300円支出している。

附属機関の委員等には条例の定めるところに従って報酬が支給されるものであるが、同委員会は設置条例が制定されていない。このようなことから、附属機関であるなら地方自治法第138条の4及び202条の3に基づき条例を制定するとともに、善通寺市特別職の職員で非常勤のもの報酬等に関する条例（昭和40年3月29日条例第13号）別表を改正されたい。

また、予算要求の際には歳出執行科目についてもご留意いただきたい。

【検討結果】

「胃がん検診精度管理委員会」は、健康増進法第19条の2において、市にがん検診の実施の努力義務が課されていることを受けて設置された機関であり、その目的は、市が実施する胃がん検診の精度を保つため、その内容及び実施方法、胃がん検診に関わる実施上の諸問題等について協議し、関係機関内での連絡調整や情報共有を図ることとなっている。

よって、本委員会は、地方自治法第202条の3第1項に定める調停、審査、審議又は調査等を行う附属機関に当たらないため、現行どおり要綱で設置するものとなる。

なお、委員への謝礼金は、報償費で支出すべきところ報酬として支出しているため、これを是正する。